

関係するころざし読本の資料

「屋台ばやしとししまい」



読み物資料等の内容

主人公は、祭りの「屋台ばやし」の練習に友達のはるとくんから誘われても参加していませんでした。しかし、渋沢栄一記念館に行き、栄一翁がすきだった「ししまい」が舞う秋祭りを知りました。『自分の生まれ育った故郷が大好きだった』栄一翁に負けないくらい、主人公も自分の生まれたところがすきです。今年は、「屋台ばやし」の練習に自分からはるとくんを誘おうとします。

授業の様子



児童の感想



渋沢栄一は、工場とかビル、藍玉を作って、どれだけすごいのがわかりました。わたしも同じで自分の育った場所がすきです。

渋沢栄一が、自分の生まれている場所を好きだ、と初めて知りました。わたしも自分の地域をすきだと思うようにしていきたいです。



この授業を受けて、自分の育った場所がすきになりました。伝統のお祭りをこれからがんばって受け継いでいきたいです。

今日、「屋台ばやしとししまい」の授業をやってもっともっと渋沢栄一翁のことを知りたくなりました。



授業を参観した教員の感想



この授業の中で、渋沢栄一翁が日本の多くの会社や銀行の設立に関わったと知ると、児童は口々に「すごい人なのだ。」「深谷にそんな人がいたなんて。」と驚きの声が上がりました。郷土愛に溢れていた渋沢栄一翁のように、自分たちもふるさと榛沢を誇りに思い、いいところをたくさん見つけようとしていました。

児童には、自分たちのふるさと榛沢を知り、よさを広め、伝統を受け継いでほしいと感じました。3年生のとても意欲的な態度が印象的な1時間でした。